縁（ゆかり）Ⅲ NO.10	R7.10.7（火）	文責　坂本英明
学校教育目標　【自ら考え、判断し行動する子どもの育成】 重点目標 ①挨拶・返事 ②掃除・委員会係 ③服装・名札 ④時間		

＜「ありがとう」が言える人に＞

10月の全校集会で次のような話をしました。

「暑い」の反対の言葉は「寒い」です。「大きい」の反対は「小さい」です。それでは、**「ありがとう」の反対は何でしょう？正解は「あたりまえ」**だそうです。実は「ありがとう」を漢字で書くと「有り難う」になります。「有る」ことが「難しい」…つまり、「滅多にない」「珍しくて貴重だ」という意味です。だから「有り難う」の反対は「あたりまえ」（いつもあること）になるということです。

みなさんは、何か特別なことをしてもらったときや助けてもらったときに「ありがとう」って言いますよね。

例えば、見学旅行などでバスに乗ることがありますが、バスから降りるときにみなさんは運転手さんに「ありがとうございました」と言っていますね。運転手さんに「ありがとう」と言っているみなさんの姿を見たとき、先生は「とってもいいなぁ」と感じます。でも、バスにはお金を払って乗っている、つまり自分たちはお客さんだから、運転手さんに「ありがとう」なんていう必要はないという考え方もあります。

みなさんはどう思いますか？先生は、**お客さん（お金を払っている人）だからしてもらうのが「あたりまえ」だと考えるのは、何か違うなと思います。「あたりまえ」と思っていることも、実はたくさんの人に支えられて成り立っています。**だからこそ、してもらったことに対して「ありがとう」を言いたいなと思っています。

先生は、よく病院へ行きます。お医者さんに診察してもらい、診察室を出るときには「ありがとうございました」と言いますし、お金を払い終えたときにも、「お大事に」と言われるので、「ありがとうございました」と言っています。

（この後、『ONE PIECE』の作者である尾田栄一郎さんの話をしましたが、省略します。）

これまで話したように、「あたりまえ」だと思っていることが、実は「あたりまえ」ではない、**いつもそうであるから、「あたりまえ」のように感じるだけ**だ、ということを知っておいてください。家にご飯があることも、学校で勉強をすることも、隣に友達がいることも、すべて「あたりまえ」ではなく、「ありがたい」ことなのです。「ご飯を作ってくれる人がいるからご飯がある」のですし、「勉強を教えてくれる先生や友達、一緒に学ぶ友達がいるから学校で勉強ができる」のです。また、「学校によっては、教室に先生と児童が一人ずつしかいないところもある」のです。

ですから、**いつものことを「あたりまえ」と思うのではなく、「有り難いこと」、「有る」ことが「難しいこと」…つまり、「滅多にないこと」「珍しくて貴重なこと」と思ってほしい**のです。そして、そのことに感謝し、「ありがたいこと」と思える人、そして**素直に、「ありがとう」と言える人に**なってほしいです。そんな人こそ本当に「かっこいい人」だと思います。

「ありがとう」という言葉がたくさん聞こえる飽田東小学校にしていきましょう。最後まで話を聴いてくれてありがとうございました。

10/7(火)縦割班活動が始まりました

10/5(日)スポーツフェスタを盛り上げました

10/4(土)危険樹木の伐採をしました

↓↓↓飽田東小学校ホームページはこちらから↓↓↓

http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/school/e/akitahigashies/index.htm